

(様式1)

校 種	小 ・ 中	学校番号	3 1	学校名	宇都宮市立横川西小学校
-----	-------	------	-----	-----	-------------

令和5年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

生きる力を育む教育活動を通して、心身共に健康で、自ら学ぶ意欲をもち、心豊かな児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- 健康で がんばる子ども（気力・体力・実践力）
- よく考え すすんで学ぶ子ども（自主・創造）
- きまりを守り 思いやりのある子ども（豊かな心情）

【合言葉】

げんきで
かしこく
やさしい子

2 学校経営の理念

一人一人が 自信をもち 輝ける学校づくり

子どもたち一人一人が、学校で学ぶ楽しさ(学習・生活)を実感し、自他を大切に互いが成長し合える学級・学校を目指す。

【目指す学校像】

- 子どもたち一人一人に 学ぶ楽しさと心の成長が感じられる学校
- 教職員が自分の力を発揮し 働く喜びを味わえる学校
- 家庭や地域から信頼される 魅力ある学校

【目指す教職員像】

- 教育的愛情と真の優しさ・厳しさをもち 子どもに寄り添い行動する教職員
- 協調性と協働性をもち 学び合い向上する教職員
- 保護者や地域住民と進んで関わり 信頼される教職員

3 学校経営の方針

- (1) 一人一人が「わかる、できる、楽しい」と学びを実感できる授業づくりに努める。
- (2) 規範意識や思いやりの心など、一人一人の心づくりに努める。
- (3) 健康に関する自己管理能力を育成するとともに、自ら進んで体力の向上に励み、たくましく生きる人づくりに努める。
- (4) 全教職員の共通理解のもと、一人一人を大切にした児童指導の充実に努める。
- (5) 家庭・地域と協働して子どもたちを育てる信頼される学校づくりに努める。
- (6) 教職員が協調性と協働性をもち、共に学び合うとともに各々のよさが発揮できる組織づくりに努める。
- (7) 校内業務の適正化（明確化や簡略化等）を図るとともに、教職員の健康安全を大切に、指導の質的向上に配慮しつつ持続可能な学校体制づくりに努める。

〔陽南地域学校園教育ビジョン〕

主体的に活動できる子どもを育む小中一貫教育

～生きる力の基本となる知識・技能とコミュニケーション能力の育成～

4 教育課程編成の方針

- (1) 本年度の学校教育目標、経営方針の示すところにより、学校の実情、児童の実態を考慮し、特色ある学校づくりが実現できるよう編成する。
- (2) 習熟度別学習やT T、教科担任制を取り入れ、「個に応じた指導」「楽しく分かる授業」を展開し、基礎的・基本的な事項の確実な定着が図れる教育課程編成に努める。
- (3) 児童の発達段階を考慮し、教科等横断的な視点で、各教科等の関連付けを図りながら教育課程を編成し、カリキュラム・マネジメントの充実を図る。
- (4) 地域の自然、文化、伝統などの教育資源を有効に生かす教育活動を編成する。
- (5) 児童一人一人の自己肯定感を、学校教育活動全体を通して育成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営
 - ・互い（児童・教職員）が成長し合い、一人一人が自信をもって輝ける学校づくりを推進する。
 - 児童の心に寄り添い、一人一人の心が成長する学校づくりを推進する。
 - 真の優しさと厳しさをもち、児童・保護者・地域を愛し、信頼される学校を目指す。
 - ・業務の効率化や勤務時間の適正化を図り、学校における働き方改革をさらに推進する。
- (2) 学習指導
 - 学ぶ楽しさを実感し、主体的に学びに向かう児童の育成を目指す。
 - ・基礎・基本の確実な習得と活用を目指す授業づくりを推進する。
 - ・「課題を理解する場、見方・考え方を働かせ課題解決に取り組む場、対話し学びを伝え高め合う場、振り返る場」等の授業の展開の仕方や発問を工夫し、新学習指導要領の趣旨を具現化させる授業を実践していく。
 - ・1人1台端末等のICTを効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指すとともに、教科の学びが深まるよう指導の充実を図る。
 - ・中学年以上を対象とした本校独自の教科担任制による指導の充実を図る。
- (3) 児童生徒指導
 - きまりを守ることの大切さや人を思いやる心の大切さを理解し、互いに他を認め合える児童の育成を目指す。
 - ・児童の特性の理解と対応、いじめの防止及び早期発見・早期解決、不登校児童への組織的・計画的支援、自己肯定感を高める支援等を工夫する。
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全）
 - ・児童一人一人が自己の健康・体力に関心を持ち、体力の向上と自己管理能力を高める教科体育・保健学習の充実を図る。

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

- (1) 育てたい資質・能力

- ・主体的に学ぶ意欲と確かな学力
- ・豊かな心と思いやりの心

(2) 具体的取組(提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇)

①「確かな学び」の充実

- ・教師の授業力の向上
- ・宇都宮モデル(「はっきり」「じっくり」「すっきり」)を踏まえた授業の展開・改善
- ・各種学力調査結果の分析を踏まえた授業改善とその後の調査問題の有効活用

◇学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり・授業実践

◇各教科の基礎的・基本的な内容の定着を図る授業改善・工夫

◇基本的な学習態度・習慣の定着を図る指導の充実

◇学校と家庭を繋ぐ「学び」の充実(学校体制での朝の学習の取組,発達段階や個に応じた家庭学習の在り方の明確化,家庭学習強化週間の実施と家庭への協力依頼等)

◇1人1台端末等のICTを効果的に活用した学習活動の充実と授業づくり

- ・中学年以上で,学年間での授業交換や専科指導を導入した学びの充実

②地域の人材や教育資源の活用

- ・ボランティア,教職員,保護者,児童などによる読み聞かせ会

◇総合的な学習の時間での地域人材や地域資源の積極的な活用

(わたしたちの町たんけん,安全マップづくり,エソジマモチ栽培)

◇地域ボランティアの指導による農業体験,生産農家やボランティア・市内高校生との交流,学習支援ボランティアの指導による学びの充実

③ふれあい活動の充実を通じた豊かな心や思いやりの心の育成

◇あいさつ運動の充実(あいさつ応援団,陽南地域学校園,地域・家庭との連携)

◇児童会活動における縦割り班活動の活性化と充実(6年生を送る会等,共遊,ふれあい給食,清掃)

- ・幼稚園,保育園,中学校との交流活動

◇地域の高齢者の方々との交流会

- ・生活科「昔あそび」での交流

- ・PTA,地域協議会,地域による活動(横西フェスティバル,おばけ大会,焼いも大会,ふれあいまつり等)

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり(「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む)

①基本的考え

地域の人々と協働して子どもたちを育てるため,教育目標やビジョンを共有するとともに地域の思い(横川地区,育成会等)にふれる場を設定し,郷土への愛情を育む。学校が地域の大人たちと子どもたちを繋いでいくようにする。

②主な取組

- ・生活科や総合的な学習の時間での高齢者とのふれあい活動や地域資源・人材を活用した授業づくり
- ・地域の各種団体と連携・協働した取組(幼保園児・敬老会・育成会・横川地区)

- ・魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働の取組（おばけ大会，焼いも大会，グリーンサポーター等による環境整備活動，登下校の安全見守り）
- ・PTAや放課後子ども教室等との連携・協働

（２）小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

小中連携して思いや考えを言葉で表現し，伝え合う力の育成を図りながら，学力の向上と心の教育を推進するため，地域学校園研究テーマを「生きる力を育むための学力保障と学校生活適応能力の育成～主体的・対話的で深い学びを通して～」と設定し，児童生徒の主体的・対話的な活動を重視した授業や諸活動を展開する。また，昨年度までの実践を踏まえ，「コミュニケーション能力の育成」の面から，今年度も「あいさつ」を中心とした温かな言葉の行き交う学校園形成に努める。

②主な取組

- ・交流活動…中学校乗り入れ授業，小中あいさつ運動，
- ・学力向上…各校校内研修への参加による指導法改善，授業力向上，家庭学習の定着
- ・心の教育…小中連携した道德性の育成
- ・食育…食事のマナーの指導，統一献立の実施（読書週間），お弁当の日の指導
- ・健康・安全…ヘルメット着用啓発，スマホ・ケータイ所持や使用状況，不登校児童生徒の情報と支援策の共有

（３）不登校対策

①基本的考え

学校全体で「不登校の未然防止・早期発見・早期対応」を推進するため，子ども一人一人にとって学校（学級）が「居がい」や「やりがい」のある楽しい学びの場となることを目指し，互いを慎重し合う温かな人間関係づくりに努める。また，全教職員が，子どもたちの気持ちに寄り添う姿勢をもち，共通理解を図りながら児童の支援に努める。

②主な取組

【学校組織として】

- ・学校組織での対応の充実（ケース会議，定期的な情報共有，教育相談）
- ・意識化，具体化，共有化を図るための研修の充実
- ・関係機関（SC，教育センター，適応支援教室等）との連携を図った，チーム体制での支援
- ・不登校児童の別室登校支援等対応への校内組織，体制づくり
- ・「デジタル適応支援教室」の有効活用や1人1台端末を活用した個々の状況に応じた支援の充実

【未然防止の取組】

- ・互いに成長し合い，信頼し合える楽しい学級づくり
- ・Q-U結果の活用やエクササイズ，トレーニングによる人間関係づくり
- ・教育相談

【早期発見・早期対応】

- ・欠席状況共有シートの活用，教育相談，別室の柔軟な活用
- ・関係機関（SC，教育センター，適応支援教室等）との連携を図った，チーム体制で

の支援

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

児童が端末を文具の一つとして授業内外で日常的に活用するとともに、教科の学びを深め、学びの本質に迫ることができるようにするため、教員がI C Tを活用して指導する力を更に高める。また、児童の実態を踏まえ、協働学習ソフト等を活用した授業が行えるよう、着実に取組を進める。

②主な取組

- ・校内外の研修やI C T支援員の効果的な活用等を通じた教員の端末の活用力・指導力の向上
- ・協働学習ツールやA Iドリル等の積極的な活用による教科の学びの充実
- ・日頃の授業等を通じた端末使用上のルール of 徹底やデジタル・シティズンシップの育成
- ・児童が端末の使用に慣れるための様々な機会の設定
- ・一人一授業等での端末の活用の推進と効果的な活用法についての情報交換の充実

(5) 宇都宮学

①基本的考え

市のモデルプランや社会科の年間指導計画に基づいて効果的に実施していくため、各学年で計画的に取り組むとともに、各教科等で学習したことを取り上げたり、宇都宮学での学習を各教科等の充実に生かしたりして、指導の効果を高めるよう努める。

②主な取組

- ・副読本、指導案、ワークシート等の教材・資料の効果的活用
- ・総合的な学習の時間の他の単元との関連を図った学習活動の充実
- ・宇都宮の将来に向けて考えたり、話し合ったりするなど、主体的・対話的で深い学びの充実
- ・他教科や各種行事、家庭との連携など、学習効果を高めるためのカリキュラム・マネジメントの工夫